



楽しく学び つながり、活かす 生涯学習



教育

はむらの



さまざまな制約がある中で行われた運動会ですが、当日に向けて取り組む子どもたちの姿や、それぞれの競技で力を発揮する姿には、未来の子どもたちの活躍を感じることができました。

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習

新年を迎えて



▶羽村西小学校にて（右から）
 委員 永井 英義
 委員 塩田 真紀子
 教育長 桜沢 修
 教育長職務代理者 江本 裕子
 委員 羽村 章

桜沢教育長

今年度は、新しい生涯学習の計画がスタートします。では、なぜ学習するのでしょう。子どもたちには、「みんなが幸せになるため、理想の未来をつくるためだよ」と答えたいと思います。子どもたちから高齢者まで一緒に学び、夢を語る一年にしたいと思っています。

江本教育長職務代理者

新型コロナウイルス感染症に覆われていたこの期間を「失われた二年」ではなく「好機の二年」にするためには、今年の計画や活動が大切です。変化を前向きにとらえ、自分自身も学びを止めないように努めます。

羽村委員

自分のあり方に自信を持ち、失敗を恐れず、主体性を持って目標に向かって努力する、自分は価値のある人間であると感じる自己肯定感が高い、そして将来自分の存在が社会に役に立っていると思える子どもたちを育む羽村であるように、今年も尽力します。

塩田委員

新年おめでとございます。学校で1人1台の端末を使用することは、教え方・学び方を変えました。コロナ禍による中止や変更は、ピンチをチャンスに変える力や児童・生徒の自主性が育ちました。行事や活動が戻っていく中で、対面や人との繋がりも大事にしながら、学びの可能性を広げ充実させられるよう尽力してまいります。

永井委員

マスクを付けて生活することが日常となつて2年が経とうとしています。表情が見えにくく相手の気持ちを察することが難しい場面も多いことでしょう。マスク無しの生活に早く戻れるように願いつつ、心もマスクで隠している子どもたちは居ないか、注意深く見守っていききたいと思えます。

令和3年度

学校給食に関するポスターコンクール
審査結果

羽村・瑞穂地区学校給食組合では、学校給食や食について広く啓発を図るため、ポスターコンクールを実施しています。（共催：公益財団法人東京都学校給食会）

今年度は羽村市、瑞穂町の小・中学校に在学する児童・生徒から606名の応募をいただきました。審査の結果、最優秀賞4点（羽村市から3点、瑞穂町から1点）、優秀賞4点（羽村市から3点、瑞穂町から1点）、入賞20点（羽村市から15点、瑞穂町から5点）合計28点が決定しました。

最優秀賞作品を掲示した給食配達車が羽村市および瑞穂町内を走りますので、ぜひご覧ください。

詳しくは、「羽村・瑞穂地区学校給食センター公式サイト」
<http://www.kyushoku.or.jp>をご覧ください。

最優秀賞作品紹介（敬称略）



▶長谷川 愛瑠
 武蔵野小学校
 3年



▶武元 晃詩
 羽村西小学校
 6年



▶水谷 碧翔
 羽村第一中学校
 2年

【問合せ】羽村・瑞穂地区学校給食センター

給食課管理給食係 ☎554-2084

文化財防火デーについて

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。文化財を火災等の災害から守るとともに、国民の文化財愛護の意識を高めることを目的として制定されています。

この記念日が制定されるきっかけとなったのが、昭和24年1月26日に発生した奈良県の法隆寺金堂の火災です。当時国宝に指定されていた貴重な壁画が焼損したこの事件は、国民に強いショックを与えました。また、同年2月27日には愛媛県の松山城筒井門等、6月5日には北海道の松前城天守等でも火災が発生し、いずれも当時国宝に指定されていた文化財が被害に遭いました。

こうした事件を受けて、文化財を火災等の災害から守ることの重要性について国内で議論が高まり、翌年の昭和25年に文化財保護法が制定されます。

その後、法隆寺金堂で火災が発生した日であり、一年の中で最も火災が発生しやすい時期が冬期であることから、昭和30年に、1月26日が文化財防火デーと定められました。

毎年、この日を中心として全国各地で防火訓練等の文化財防火運動が実施されています。羽村市でも、福生消防署や羽村市消防団、社寺関係者にご協力をいただき、市内の社寺を対象とした文化財消防演習を継続しており、今年も稲荷神社での実施が予定されています。



▲文化財消防演習の様子(宗禅寺)

【問合せ】郷土博物館 ☎558-2561

図書館からのお知らせ

★読書手帳表彰の基準を変更しました

図書館では、平成28年より、たくさん本を読み、読書手帳にその記録をされた方を表彰しています。これまで、延べ49の方が表彰されました。

しかしながら、中学生、高校生が読む本は、1冊のページ数も多く、なかなか達成者が出ない状況でした。そこで、令和4年春の表彰より、読書手帳表彰の基準を見直し、左記のとおり変更しました。春の表彰の受付は、3月1日から行います。達成基準に該当する方は、お申し込みください。

対象	変更前	変更後
小学生以下	500冊	500冊(変更なし)
中学生	500冊	500冊(中学生以前に読んだ本も含む)または、中学生になって以降に読んだ本の記録が200冊
高校生	1,000冊	500冊(高校生以前に読んだ本も含む)または、中学生になって以降に読んだ本の記録が200冊
一般 (高校生を除く 18歳以上)	1,000冊	1,000冊 ※一般の方は、表彰回数の上限を5回までとします。

【表彰基準】

※市内在住・在勤・在学者で、読んだ本の記録を、「読書手帳」または「よむちよ」等に記入した方で、上記の基準を達成した方

★市制施行30周年記念「シリーズ 読んで学ぶ羽村市④」

図書館で所蔵している本の中で、羽村市に關係するおすすめの本を紹介します。

羽村市は昨年11月1日に市制施行30周年を迎えました。市としては30年ですが、それ以前は、「羽村町」(1956(昭和31)年から1991(平成3)年として35年、「西多摩村」(1889(明治22)年から1956(昭和31)年)として67年と、市町村制公布以後132年の歴史を紡いできました。

「羽村町」「西多摩村」を懐かしいと思う方も、初めて知ったという方もいらっしゃるでしょう。市制施行30周年を機に、羽村の足跡をたどってみませんか。

- 『西多摩村史』 西多摩村役場／編
- 『羽村町史』 羽村町史編さん委員会／編
- 『羽村町史研究』 羽村町史編纂委員会
- 『羽村市史 資料編 中世』 羽村市史編さん委員会／編(資料編は他にも近世・自然・民族等があります)



【問合せ】図書館 ☎554-2280

羽村の祭ばやしを知ろう

羽村の祭囃子

羽村市制施行30周年記念事業

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ

〜 伝承される羽村の芸 〜

「羽村の祭ばやし保存連合会」の設立

昭和59年当時、市内で活動する各団体の共通的な課題となっていた後継者育成などについて、連合会の組織をもって解決にあたり、さらに保存振興活動の推進力の要とすることを目的に設立しました。

連合会には、「奈賀町神田囃子保存会」、「加美町囃子保存会」、「小作本町囃子保存会」、「東町はやし保存会」、「川崎囃子保存会」、「五ノ神囃子保存会」が所属、各地域の神社の例大祭や納涼祭、はむら夏まつりなどでその芸を披露し、地域に活気を与えています。

「祭囃子」の流派「神田流」と「重松流」

今回の公演のテーマ『伝承』に合わせ、伝承の系譜や各保存会を紹介いたします。

市内で唯一「神田流」を継承しているのが「奈賀町神田囃子保存会」です。江戸時代の末期に葛飾区にある葛西神社の職人または多摩川の筏流し職人によって伝承されたとされる説があります。この奈賀町から昭和20年代から30年にかけて「拜島奈賀町神田囃子保存会」や「東中神睦囃子保存会」に芸が伝承されました。

一方、「加美町囃子保存会」はかつて「神田流」でしたが、明治初期に埼玉県所沢出身の古谷重松氏によって伝えられたとする「重松流」の教えを受け現在まで継承されています。この加美町から昭和47年に教

えを受けたのが小作本町囃子保存会です。「小作本町囃子保存会」は大正時代から昭和初期にかけて「神田流」が伝承されていましたが、戦争で途絶え昭和中期までお囃子が無い時期がありました。しかし、加美町からの教えを受けて活動を再開しました。また、加美町からは立川市の「錦東会」はやし連にもその芸が伝承されました。

また、「重松流」を継承している「東町はやし保存会」の「東町の祭囃子」は江戸時代から続いていると考えられています。この東町から教えを受けたのが、川崎囃子保存会と五ノ神囃子保存会です。「川崎囃子保存会」は昭和53年2月に発足、「五ノ神囃子保存会」は平成6年に教えを受けて、平成7年に連合会に加盟しました。

新入会員募集中！

どの保存会も小さな子どもから大人中には90歳を超える方まで、厳しい中にも和気あいあいとした雰囲気地域の会館や神社などで練習に精を出しています。コロナ禍で練習のできない期間もありましたが、地域の皆に楽しんでほしい、長きにわたり受け継がれてきた「地域の宝」をもっと知ってほしい、という想いを、歯切れの良い祭囃子のリズムに乗せて今日もバチを打ち笛を奏でます。

三度の飯よりお祭りが好きとまではいなくても、何かを始めたい、長く続け

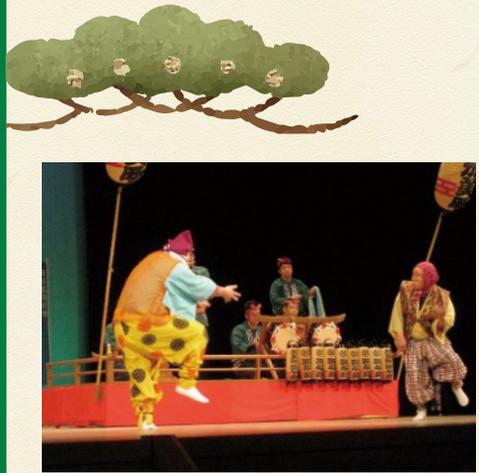
られるものを探している方、粋な祭囃子はいかがですか。どの保存会も新入会員を募集しています。

「公演の見どころ聴きどころ」

● 時を超えて受け継がれてきた囃子の音色とともに、公演に華を添えるのが「踊り」です。獅子やおかめ、火男など子どもからベテラン会員までが踊ります。ぜひそのリズムカルで楽しい振りをご覧ください。

● アップテンポで常に賑やかなイメージのある祭囃子ですが、雰囲気のある静かな演目(静か物)もあります。演目によって音の強弱、リズムも変化しますので祭囃子の奥の深さを楽しめます。

● ホール公演のためご覧いただけませんが、地域のお祭りなどで登場する『山車』の中には100年以上の歴史を持つものもあり、その勇壮な姿とともに長きにわたり祭囃子と歩んできた歴史を感じることが出来ます。



公演情報

日時：令和4年2月13日(日)
開場 12:30 開演 13:30
会場：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール
入場料：無料(要入場券)
定員：648人【全席指定】
入場券：ゆとろぎ窓口で配布中(午前9時～午後8時)

問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ
570-0707 ※月曜休館
主催：羽村市・羽村市教育委員会

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ ☎ 570-0707



「ボッチャを始めませんか？」

スポーツ推進課では昨年9月に閉幕した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし高まった、スポーツへの興味関心を継続できるようにさまざまなスポーツ事業を実施しています。特に市民の誰もが生涯を通じて健康で元気に生活できるようにスポーツに親しむ環境を整えることを目指しています。すべての年代や車いすの方が同じルールで競い合えるパラリンピック正式種目の「ボッチャ」の教室や大会を実施しています。

ボッチャとは

重度の脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害のためヨーロッパで考案されたスポーツで、障害の有無に関わらず、老若男女を問わず誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。自力による投球ができない方は、介助者（※）によるサポートで「ランプ（勾配具）」と呼ばれる小さな滑り台のような用具を使用し競技を行うことができます。

「ジャックボール（目標球）」と呼ばれる白いボールに向かって、赤と青それぞれ6個のボールを投げる、転がすなどして、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う競技です。1対1の個人戦、2対2のペア戦、3対3のチーム戦の3種目があります。

（※）介助者：選手の指示に従い「ランプ」の角度や高さを調整することはできますが、選手にアドバイスすることなどは禁止されています。

ボッチャの魅力！

- スピードやパワー、難しい技術は必要ないので、誰でも一緒に楽しめる
- 介助者の方がいたり道員があれば、手足が不自由な方や車いすの方もできる
- 大きなスペースも必要なく手軽に健康づくりができる
- すべての方が同じルールで競い合える

11・12月に実施したボッチャ体験教室



室では小学生から高齢者、車いすの方までご参加いただき、皆さん同じルールで体験しました。参加者からは「おもしろかった」「また参加したい」「これからも続けていきたい」「大会にしたい」など、多くの前向きなお声をいただきました。来年度も大会に向けたボッチャ体験教室を実施予定です。ぜひご参加ください。

皆さんもスポーツへの意欲向上や健康づくりのためにボッチャを始めませんか？



【問合せ】

スポーツセンター

☎5555-0033

生涯学習センターゆとろぎからのお知らせ

ゆとろぎでは、映画上映会やコンサート、展示など、ごなたでも気軽に参加できるさまざまな事業を実施しています。

第20回ゆとろぎ想ひ出の映画鑑賞「監獄ロック」

蘇る青春！プレスリーの魅力再発見！

日時：1月30日(日)

開場：13時15分 開演：14時

会場：ゆとろぎ小ホール

定員：252名【全席指定】

入場料：500円

※未就学児入場不可

プレイガイド：【窓口販売】ゆとろぎ、羽村市スポーツセンター、西多摩新聞チケットサービス

主催：羽村市教育委員会

企画運営：ゆとろぎ協働事業運営市民の会

令和3年度公共ホール音楽活性化支援事業 羽村市制施行30周年記念 Duetwoかなえ&ゆかりピアノデュオコンサート

シヨパン、ラヴェルなどの名曲や羽村市をイメージしたオリジナル曲をお届けします。



日時：2月19日(出)

開場：13時30分 開演：14時30分

会場：ゆとろぎ大ホール

定員：824名【全席指定】

入場料：大人1,500円/シニア(当日70歳以上)1,200円/高校生以下500円

※未就学児は入場できません

プレイガイド：【窓口販売】ゆとろぎ、羽

村市スポーツセンター、西多摩新聞チケットサービス「インターネット販売」ゆとろぎオンラインチケット

※座席指定不可

主催：羽村市教育委員会

助成：(一財)地域創造

制作協力：(一社)日本クラシック音楽事業協会

制作協力：(一社)日本クラシック音楽事業協会



▲ゆとろぎオンラインチケットQRコード

鈴木育の流木アート

ヒラキヒラキ2022 森と海からのメッセージ

日時：2月17日(日)～27日(日)10時～17時

(最終日は16時まで)

※2月21日(月)は休館

会場：展示室 入場料：無料

●ワークショップ「流木であそぼ！」

日時：2月19日(出)10時～12時

会場：創作室1 参加費：無料

定員：20名(事前申込)

対象：小学1年～4年生

※小学3年生以下は保護者同伴必須

●ギャラリートーク

日時：①2月19日(出)14時～15時

②2月23日(水・祝)14時～15時

会場：展示室 参加費：無料

定員：各10名(事前申込)

*関連イベントの申し込み方法

1月15日(出)より、ゆとろぎ窓口、電話、電子申請サービスにて申込受付

主催：羽村市教育委員会

企画運営：ゆとろぎ協働事業運営市民の会

協働事業運営市民の会



▲電子申請サービスQRコード

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ

0570-0707

スポーツセンターからのお知らせ

「四季のウォーク」に参加しませんか？

ウォーキングマップを見ながら一人で歩くより、仲間と楽しく歩きたいという方に、「四季のウォーク」をご紹介します。主催者であるスポーツ推進委員の方にお話しを伺いました。

Q 四季のウォークはいつ開催していますか？

A 例年9月と3月、年2回開催しています。

Q 誰でも参加できますか？

A お一人で歩ける方ならどなたでもご参加いただけます。

Q どのようなコースを歩くのですか？

A 9月25日(出)に開催した「四季のウォーク」では、スポーツセンターをスタートし、青梅市の友田コース(3km約60分)と長淵コース(9km約150分)のどちらかを

選択していただきました。

Q その他、特徴などはありますか？

A 最近ではコロナ禍で市内や近隣を歩くコースが中心です。また、ただ歩くだけでなく、ポールウォーキングを実施しています。

Q ポールウォーキングとは？

A 誰でも気軽に始められる全身運動です。スキー用ストックに似た2本のポールを持って歩きます。

Q ウォーキングとの違いや運動効果を教えてください。

A ポールを持つことで、上半身を使用した全身運動になり、首・肩まわりの血行が良くなります。また、

歩幅が広がるため筋力・エネルギー消費もアップします。さらに、生活習慣病の予防にもつながりますので、継続して行うことをおすすめします。

Q ポールウォーキングは、誰でもできますか？

A 初めの方、自信のない方は推進委員がサポートします。親子やグループで参加された方もいます。ポールは、スポーツセンターで借りられますので、ポールをお持ちでない方も、安心してご参加いただけます。

Q 参加者の感想を教えてください。

A 「ポールを使うため、腰への負担が少なく、楽に歩けた」「参加した日はグッスリ眠れた」など、嬉しい感想をいただきました。

Q 次の回の四季のウォークはいつですか？

A 3月下旬頃を予定しています。「広報はむら」や市公式サイトでお知らせします。ぜひ参加してください。



▲友田コース：秋桜(コスモス)の咲く「友田レクリエーション広場」で休憩



▲ポールを使うことで、リズムカルに全身運動をすることができます

【問合せ】スポーツセンター

0570-00033

東京都教育委員会
学校活動支援団体感謝状

松林小学校
動物公園登校見守り

松林小学校の動物公園登校の際の見守りを行っている地域の有志の皆さんに対し、東京都教育委員会から学校活動支援団体感謝状が贈られました。

この感謝状は、長年にわたり継続して学校活動の支援および地域における子どもたちの育成活動を続けている団体などに贈呈されるものです。

松林小学校では、平成22年9月から、開園前の動物公園構内を通学路として使用しています。地域の有志の皆さんは、子どもたちが安全に、安心して登校できるよう、10年以上にわたり、動物公園登校の際の児童の見守りを行っています。

児童は地域の皆さんとあいさつを交わしながら、安全に登校することができています。



▲代表の佐原文夫さん



【問合せ】

生涯学習総務課
生涯学習推進係（内線363）

令和3年度羽村市教育委員会表彰
候補者の推薦をお願いします

教育委員会では、羽村市の教育、学術、文化、芸術、スポーツなどの振興に尽力し、その功績が顕著な個人または団体を表彰します。

◆表彰の対象となる期間

令和3年1月1日～令和3年12月31日

児童・生徒の表彰

●クラブ活動、部活動またはその他の活動において、関東大会レベル以上の競技会、東京都レベル以上のコンクール若しくはそれに準ずるものに出場または出品し、著しい成績をあげたもの

●児童・生徒などの模範となる活動を行い、その功績が顕著であるもの

教職員の表彰

●学校教育の振興、発展に寄与し、特にその功績が顕著であるもの

●部活動またはボランティア活動などにおいて児童・生徒の指導に著しい成果をあげたもの

教育功労者などの表彰

●委員会が委嘱または任命した各種委員で、満10年以上その職にあつたもの

●各種教育団体の役員として満12年以上その職にあつたもの

●教育、学術、文化、芸術、スポーツなどの活動において市民の模範となる活動を行ったもの

※推薦の方法など、詳しくは問い合わせてください。

【問合せ】

生涯学習総務課総務係（内線354）

教育随想

学校の役割とは

教員だった頃、夏休みや冬休みなどが終わった長期休業明けの学校が好きでした。それまでシーンとしていた学校に、子どもたちの大きな声やランドセルの中身をカタカタいわせて階段を駆け上がった足音などが一斉に戻ってきて、校舎内が急に膨らんだような感じがします。教室で子どもたちを久しぶりに迎えると、休み前より一回り大きくなって顔つきまで変わったように見えるものでした。東京都の新型コロナウイルス感染者数がいつの間にか二桁になって緊急事態宣言が解除され、しばらく中断していた教育委員会の「学校訪問」が再開されたとき、その思いと同じような感覚を味わいました。学校を訪問すると、マスク越しとはいえ「コロナ前」と変わらざ子どもたちと先生方が紡ぐ学校生活の一端に触れることができ、安堵と感謝の気持ちで募りました。運動会ではマスクの形に日焼けした子どもたちの口元を見て、制限された日々の中で懸命に行事に取り組んできたことを察しました。感染症から自他の身を守りつつ新学習指導要領の目指す内容を何とか実のあるものにしようと奮闘する先生方や、多くの我慢と不自由を味わいながらも目の前の課題に肅々と取り組んできた子どもたちの姿に力をもらいます。

コロナ禍で臨時休校が続いた頃から、私は「学校の役割」とは何だろうとよく考えました。わざわざ子どもたちが学校へ出て来て、一つの教室に集まって、先生が前に立っているのは何のためなのか。それは、教育とは効率と結果だけでなく「過程」を重視するからではないか。単に先生から知識技能を与えられて正解や成功に往きつくのではなく、どのようにそこにたどり着くのかを大切にしているからではないか。まずは自分で考え、次に皆で考え、話し合い、試す。その中でいろいろ価値観を知り、自分で省みる。他人と協賛することは多くの煩わしさや人の弱さ、醜さと向き合うことになるけれど、それを踏まえる知恵を試行錯誤しながら学びつつ課題解決に向かう。その末に「共感」と「達成」の喜びを得る。先生はこの一連の学びを支える基礎や基本を子どもたちに教え、実態に合わせて導きサポートする。協働、共有、共感—一人ではできないことを学ぶ場所が学校ではないのか。そのようなことをつらつらと考えたこの一年半でした。



教育長職務代理者 江本 裕子

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市体育協会

TEL 555-1698

羽村市体育協会に

加盟しませんか

当協会は、現在20からなるスポーツ団体に加盟しており、加盟団体とともに、羽村市が主催するスポーツ事業に協力するなど市内のスポーツ振興を担っています。

スポーツ事業を通じ、各加盟団体相互の親睦や連携を図ることなども目的としています。

当協会に加盟すると、東京都や市町村主催の大会に参加出来ること、優先的に大会等の会場確保が出来るなど利点があります。

興味を持たれたスポーツ団体は、ぜひ問い合わせてください。

入会金 10,000円
会費 15,000円
入会方法 申請書の提出
問合せ NPO法人羽村市体育協会
電話 555-1698
FAX 555-1699

羽村市文化協会

TEL 579-12772

ゆとろぎ伝統文化交流事業

ゆとろぎでお正月を遊ぼう！

入場無料

(初釜のみ菓子代100円)

―新年にふさわしい伝統文化・邦楽を生でお楽しみください―

日時 1月9日(日) 11時～14時

書き初め、初釜、初いけ、コマ回し・羽つきなど

会場 ゆとろぎ1階ロビー、交流ひろばなど

第86回ゆとろぎ邦楽サロンコンサート「初春邦楽のしらべ」

日時 1月9日(日) 正午～13時 入場無料

会場 ゆとろぎ小ホール 地下1階

定員 200名(先着順) コロナ感染防止のため検温、マスクの着用、記帳をお願いします。

出演 琴/羽村三曲会、詩吟/詩吟サークル西吟会(書道吟/書田村好)、南京玉すだれ/南京玉すだれ仙の会、かっぱれ/羽村かっぱれさくら会

市制施行30周年記念文化協会「絵画展」

日時 1月12日(水)～16日(日) 10時～16時(最終日は15時まで)

会場 ゆとろぎ展示室
 絵画部門 8団体・個人の小作品

ゆとろぎ利用者交流会

ゆとろぎを利用して文化活動をしている団体が情報交換をして、お互いに協力して文化サークルの継続や循環型生涯学習の推進を図る事を目的に話し合います。どなたでもどうぞ！

○アトラクション…マジック(手品サークル羽)

日時 1月16日(日) 13時30分～15時30分

会場 ゆとろぎ講座室1

第1回芸能まつり

日時 2月6日(日) 開場12時30分 開演13時

会場 ゆとろぎ小ホール
 先着230名 入場無料

第2回みぢかな一歩展&初めの一歩体験教室

ニット、ハワイアンキルト、俳句、絵手紙、いけ花、絵画、木工他小作品

日時 2月10日(木)～13日(日) 10時～16時(初日13時～最終日は15時まで)

会場 ゆとろぎ展示室(体験教室は2月11日(金)～13日(日)創作室ほか)

第87回ゆとろぎサロンコンサート「ラテンギターフェスティバル」

日時 2月19日(土) 開場11時30分 開演正午～13時

出演 法政大学ギタークラブOBバンド

会場 ゆとろぎ小ホール
 先着230名 入場無料

INFORMATION

羽村市役所(代表) Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331